

令和6年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットを使い活動を撮影し、確認を行うことで、自己の課題に気付ける生徒の割合が増えた。
- ・ボール投げが全学年で全国平均よりも高いことが新体力テストの結果からわかった。小学校と連携し、投力の育成に注力した成果があらわれた。

(2) 課題

- ・持久力が全学年で全国平均よりも低い。特に男子生徒の値が大きく下回る。
- ・体を動かすことの好きな生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。
- ・コロナの影響もあり、泳げない生徒の割合が増加傾向にある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

学習効果測定未実施のため、新体力テストの結果、授業の様子や小テスト、定期テスト等の結果をもとに、授業改善を行う。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力が低く、基本的な技能は時間をかけて身につけさせる必要がある。	運動のポイントを意識し、表現することのできる生徒の割合が少ない。	意欲的に学習に取り組もうとする生徒の割合が多い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力が低く、技の名称やルール等も理解していない生徒も多い。	自己の課題に気付いたり、仲間への助言や補助を行ったりできる生徒の割合が例年よりも少ない。	意欲的に学習に取り組もうとする生徒の割合が少ない。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力もつき、運動を行う上で必要な知識も概ね定着している。	自己の課題に応じて練習方法を工夫することのできる生徒の割合が増えた。	意欲的に授業に取り組む姿勢やルールやマナーを意識して取り組む生徒の割合が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力の定着のため授業毎行う補強運動や5分間走では、ポイントを示した指導を行う。	個人の課題に応じて、練習できるように様々な練習メニューを提示していく。	苦手意識のある生徒に対し、スモールステップ等を設け、より達成感をもたせ意欲的に活動に取り組めるようにしていく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単に体を動かすのではなく、記録を伸ばすための効率的な動きを示した指導を行う。	タブレットを用いて、視覚的に運動を捉え、技能の改善に生かせるように指導していく。	お互いの体力や技能の違いを意識し、互いの良さを認め、仲間とともに高め合うことのできる授業を展開する。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定着した知識や個人技能をゲームや競技会で生かせるように助言をする。	仲間と協力したり、お互いに教え合ったりする機会が多くもてるような授業を展開する。	中学時に行った運動をきっかけに将来にわたり、継続的に運動に取り組めるように指導をしていく。